

星屑

July '99

No.292



M1 (かに星雲)

撮影時刻 1998 10 25 02h33m30s

露出 6m00s

フィルム Fuji Super400

撮影地 熊本県民天文台

望遠鏡 41Cm F6

撮影者 熊大天文研究会部長 佐藤さん

3p-ジムの
記事に登場

熊本県民天文台



南の国からこんにちは

～マロエレレイ メイ トンガ～



宇土市 山田京子

この太陽系、第3惑星の地球で、一番に1日を迎える国はどこだと思いますか？

それは、毎日毎日ゴロ寝をして暮らす国・トンガです。お好み焼きにつまようじを刺したような島、それがトンガ王国なのです。

南太平洋の日付変更線の上にあり、キャプテンクックが、「フレンドリーアイランド」と絶賛してやまなかつたところの人の心も気候も温かい島です。

この全国土合わせても琵琶湖よりもひと回り小さな国で、ほ一つと2年間浦島花子をやってきました。そのときのお話を少しだけさせて下さい。

南緯20度というと、亜熱帯に属します。南中高度が高く、日射しがとても強い。だから生まれたときは、日本人と同じぐらいの肌の色（同じモンゴリアンなので、赤ちゃんには蒙古斑がある）なのに、みんな小麦色に焼け、ステキなステキなポリネシアンになります。さて、オ

ーストラリアの町中では、周りにビルがたくさんあり、あまり意識しない人も多いと思いますが、トンガ王国のように、平均海拔78cmの国（山がない！）では、外にいと、なんとなく体の居心地が変なのです。何を言っているか、意味が分かりませんよね。つまり、見上げて、ココヤシの木以外は青い青い空ばかりで、感動的な南の島の空間なのですが、なんか変。「変だ～！！！」と叫んだこともありました。

太陽が、あ～、太陽がなんと北の空にあるのです。もちろん西から太陽は昇りませんが。北の空にある太陽をちょっと想像して下さい。落ち着かないんです。

やっと慣れた頃、しかも真夏の2月、静かな生活が始まると思いきや、ラグビーランドの端っこにある私の家では、眠れないのです。なんと、月明かりでトンガ人がラグビーをやっているのです。電気がほとんどな

い国ですから、街灯なんてとんでもない。夜はランプ生活の村人たちが、明るい月の明かりで、ナイター設備を施しているかのような明るさの中で、ラグビーをしているのです。

そうですね、太陽の南中高度が高いということは、お月様だって、南中高度は高いということですよ。月の公転面は、地球の太陽に対する公転面と平行でしたよね(?)。ということは、周期は違うけれどもお月様も太陽と同じように、時期によって、月の出の位置と月の入りの位置も変わってくる(?)んですよ。

(誰か確認して教えて下さい。)

まあ、それは、おいといて、ですから、満月の夜なんて、オオカミ男どころか、赤ずきんちゃんだって、森の中でも迷子にはならないくらい明るいのです。

もっとも、ラグビーシーズンになると、勤務終了時刻よりも前にグラウンドに来て、夜遅くまで練習し、朝は4時ぐらいから朝練をし、出勤して仕事に寝て休息をとり、仕事の話は、全く気にせず、昼過ぎたらまたまたグラウンドへまっしぐらという

信じられないくらいステキな生活パターンが繰り広げられるのですが。

南半球の魅力といえば、やはり南十字星ですよ。東の空から十字架が見えてくるととても感動します。ジーンと感動して見ていると、またまたもう一つ十字架があがってくるのです、でも小さいの。実は、なんと、この小さいのが本当の南十字星で、大きくて、かっこよくて、見るからに十字架って感じのは、二セ十字と呼ばれていました。そうなんです、物事は、何事も控えめに、一歩引くのが美德。昔からよく日本の民話で言われてきたことですね。なんちやつて。

とにかく、トンガ王国では、北の空にある太陽と、お月様の明るさと、南十字星にどっぷりと浸った日々でした。

もし、次回も我慢して読んでいただけるならば、習慣、食べ物、住居などについても書いてみたいと思います。では。

祝！ 新連載「のび太の部屋」

～ 第1回 ～



♪ルールル ルルル ルールル～

みなさん、こんにちは。「のび太の部屋」のお時間でございます。記念すべき第1回目のお客様は、熊本大学天文研究会の会長、佐藤聡美さんです。

※ の→のび太
さ→佐藤さん

の：（佐藤さんのプロフィールを見ながら）さて…、出身は大分だったよね。あっ、そうそう、高橋さんと同じ高校だったっけ。

さ：そう、高校が一緒でした。

の：（さらにプロフィールを見ながら）ほう、好きな天体はオリオン座とシリウスなんだ。

さ：見つけやすいですよ。

の：趣味がお菓子作りだったとは知らなかった。

さ：たまに、なんか作りたくなるんですよ。

の：食べ歩きも好きなの？

さ：食べるのが好き。

の：食べ歩きって、何でも食べ歩くの？

さ：うん、何でも。特にイタリア料理系が好き。イタリア好きなんですよ～。

の：あ、そうそう「おすすめの店」とかないのかな？

さ：イタリア料理は、交通センターの近くにある「ピアッツァ・チリエージョ」っていうお店が、安くておいしいですよ。

の：なるほど。これ、きっと天文台で行く人がいるよね（笑）。

さ：会うかもしれない（笑）。

の：特技、「寝相の悪さ」。そんなに悪いの？

さ：この前、天草に2泊3日、地学で行ったんですよけど、そのときに、他の人の布団は全然きれいなのに、私だけすっごいメチャクチャだったんですよ～。

の：なんか、そんな風には見えないけどね～。で、佐藤さんの座右の銘が「明日

は明日の風が吹く」。

さ：そう。

の：やっぱり、過去より明日だよな～。うんうん。で、動物が好きなのね。

さ：犬、好きですね～。家も今、犬飼ってるんですよ。でかいんですよ。

の：何犬なの？

さ：普通の雑種なんですけど、太りすぎで（笑）。

の：そして、好きな人物は、志村けん、と。

さ：そう、なんか最近よく出るじゃないですか。

の：最近バラエティにも出てるよね。

さ：コントと違う志村けん。

の：お笑い系が好きなんだ。

さ：お笑い、好きですよ～。

の：志村けんって、やってることはバカなんだけど、頭良さそうな人だよな。

さ：そうそう～。

の：で、嫌いなものは、ゴキブリと毛虫ねえ。

さ：最近、家にゴキブリが出て…。

の：それヤバイよ～、一匹いたら五十匹、とか言うし。毛虫もねえ、あのさ、熊大の南地区の、木から落ちてくる毛虫。あれがイヤだよな～。

さ：イヤですよお…。なるべく避けてます。

の：最後に、将来の夢は「外国に行く」。

さ：イタリアに行きたい。

の：イタリアは食べ物がおいしそうだな～。

さ：うん、そうですよ。あと観光の場所とか。自由選択外国語でイタリア語を探したけど、なかったんですよ。

の：さーて、そろそろまとめないと（笑）。新入生もたくさん入ったけど、あんなに入ってくれるとは思わなかったよね～。今のところ10人だけ。ホントに「うれしい悲鳴」だよな～。車足りないし…（苦笑）。いちおう、4年生もお手伝いしますんで、これからもがんばって下さいね～。

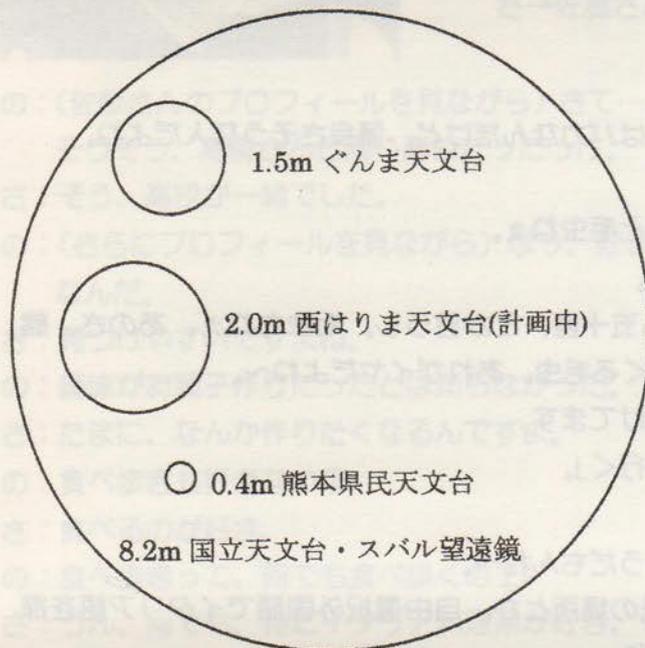
さ：はい、お願いします。

さて、今回から始まった「のび太の部屋」はいかがでしたでしょうか。次回のお客様は、佐藤さんの御指名により、既に天文台のおじさんたちのお気に入りになっている、次期運営委員候補の鹿登（しかま）くんです。どうぞお楽しみに。

「中小望遠鏡による天文学研究と教育」参加報告

福岡からの夜行高速バスを降りて、午前6時姫路駅からJR新姫線で佐用へ向かう。電車はしばらく刈り入れが済んだあとの田んぼを川沿いにのぼっていったあと、大きく左にそれて、山の中にはいっていく。そこからトンネル、トンネルの連続で、外に出るちょっと間に霧がだんだん濃くなっていく。

午前7時半、佐用の駅に着くころには、ホームや駅舎がすっぽりと霧の中におさまっていた。ホームにおかれた小さな看板「名所案内」に目を通すと、一番下に「宮本武蔵生誕地 当駅より北に17km」とあった。



主な望遠鏡の口径の比較

ちょうど最近、週刊マンガ雑誌「モーニング」で、武蔵を主人公にした「バカボンD」（井上雄彦）も始まったことだし、帰りに生誕の地にでも寄ってみようかと考えた。

駅から霧の中を歩いていく。途中から登って霧をぬけると、眼下に見事な雲海が広がっていた。展望所近くでこの雲海の撮影にきていた中年の女性と話していく。駅から5kmほど歩いたところで、丘の頂上にある西はりま天文台にたどり着く。

表題のシンポジウムは、昨日から始まっていて3日続くのだが、今回、2日目の朝の開始までになんとか間に合った。

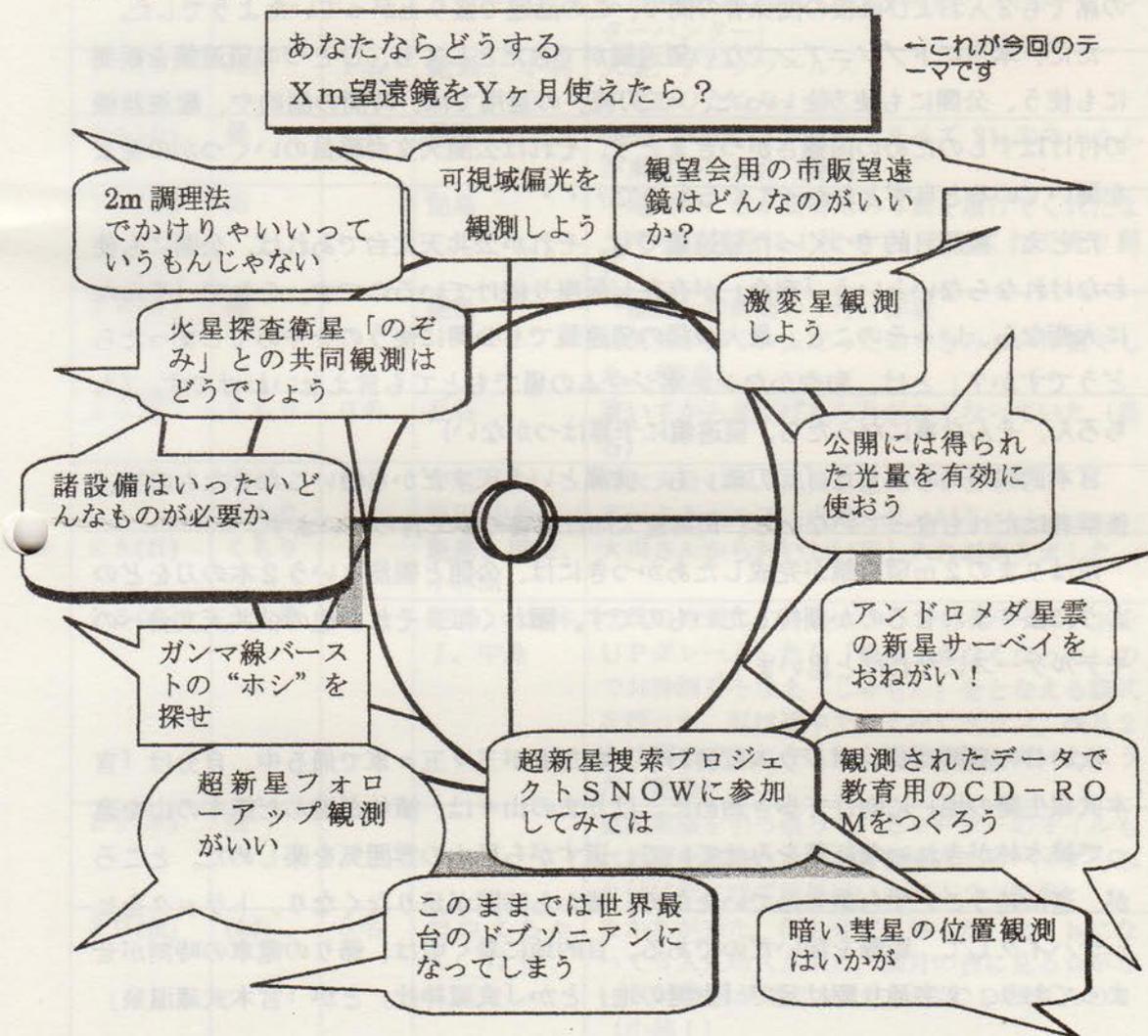
お、お、おっおーおー、武蔵の生まれ故郷はこんなところだったんだー。日本各地いろんなところを歩いているつもりでも、まだまだ歩いていないところ、知らないところがいっぱいある。宮本武蔵が「さくしゅうの浪人」と知っていてもさくしゅうがいったい何県のどこのあたりか、全然知らなかった。役場でパンフレットをもらって見ると、はたして、子供のころの武蔵はここ佐用にもいたらしい。

ちょうど最近、週刊マンガ雑誌「モーニング」で、武蔵を主人公にした「バ

一般の人への観望を行う「公共天文台」はいまや全国に200程あると言われている。一般公開だけではなく、職員、研究員が精力的に観測を行っている西はりまのような天文台もある。すでに、この天文台には、60cmのカセグレンが稼働しているのだが、さらに、口径2mの望遠鏡の建設計画をもっているのである。

公共天文台建設ラッシュの頃、望遠鏡の口径の大きさを競うようなことが相次いだ。その予算をだしている自治体からすれば、「九州で最大〇〇cm」とか、最大でなければ、「九州で最大級〇〇cm」とか、「九州で何とか光学式では最大〇〇cm」とかといった売り文句で宣伝できるので、まことに簡単で便利だ。しかし、その最大〇〇cmで、いったい何ができるの？何がしたいの？と本当に問いかけてつくったものはいくつあったのだろうか？

今回のシンポジウムは、2m望遠鏡建設にあたって、どのような研究ができるか？どのような一般公開ができるか？、またどのような運用形態がよいのか？外部の人を巻き込んで議論が行われたのである。



このシンポジウムは3日間にわたってびっしりとスケジュールが組まれ、たくさんの発表・議論がされた。その目次だけでも、書き出すとそれだけで紙面が埋まってしまうのでここでは省略させてもらって、前のページで書いたような、プロの研究者や他の公開天文台職員、天文台開設に携わった人など様々な方面からいろんな意見、希望、問題提議がされました。

その中でも印象に残ったのは、岡山の大島修さんが、「今日は（西はりま天文台長の）黒田さんを怒らせるためにやってきました」と前おきしたあと、「このままでは、2mは世界最大のドブソニアン(*)になってしまう。」という警告からはじまった発表でした。大島さんご自身が経験した美星天文台の開設の経緯を踏まえて、ドブソニアンにしないためには、といくつか具体的な提案をされていました。

その中のひとつを紹介すると、2m望遠鏡を扱うためには、最低でも技術に専念できる人が5人は必要だと、人のマネージメントの重要性を力説されていました。

この発表のあとの黒田台長との会話もまたおもしろかったし、その夜の「懇親会」の席でも2人および直接の関係者の間で、この話題で盛り上がっていたようでした。

ただ、本当にドブソニアンでない望遠鏡ができたとしても、ひとつの望遠鏡を観測にも使う、公開にも使うといった、「二刀流」の運用では、時間の制約や、観測器機の付けはずしのための困難さがつきまとう。それは公開天文台職員のいくつかの発表を聞いていると自ずとわかってくるもので・・・

たとえ、観測目的でつくった望遠鏡でも、それが公共天文台であれば、公開にも使わなければならないという「宿命」が存在し居座り続けているのです。それで「そんなに大変なら、いっそのこと、最大口径の望遠鏡でも公開に使うのをやめてしまったらどうですか？」とは、和やかなシンポジウムの中でもとても言えないわけです。（もちろん、そんな事になったら、望遠鏡に予算はつかない）

宮本武蔵があみだした「二刀流」も、武蔵という天才だから使いこなせたもので、後継者はだれも育てていないと、司馬遼太郎は著書の中で言っています。

西はりまの2m望遠鏡が完成したあかつきには、公開と観測という2本の刀をどのように振りまわせるのか期待したいものです。願わくば、それが他の公共天文台へのモデルケースになればと思います。

次の日の昼前にシンポジウムは終わり、参加者が三々五々車で帰る中、自分は「宮本武蔵生誕の地」に向けて歩き始めた。はりまの山々は、植林が進んだ熊本の山を違って雑木林がきれいな紅葉をみせていて、道すがら里山の雰囲気を楽しめた。ところが、道に迷うことすら楽しんでいたため、後から時間が足りなくなり、トラックをヒッチハイクして、距離を稼いだのである。目的地に着く頃は、帰りの電車の時刻がせまっており、文字通り駆け足で「生誕の地」とか「武蔵神社」とか「宮本武蔵温泉」

とか「武蔵の里」という看板をかかげた酒屋を通り抜けた。そして、「宮本武蔵駅」から列車に乗り込んだのである。

※) ここで大島さんは、「ドブソニアン」を見てくれの口径だけで、それに見合った性能がでない望遠鏡の総称として用いられています。ドブソニアン式望遠鏡が悪いと言っているのではないことを付け加えておきます。

高田があるく 第5回終わり

00
(☆)

4月の県民天文台 ～運営日誌より～

開台率日 13/31 日=41.9% 来台者数名9名 会員36名

日付	天気	来客数	担当運営	記事
3(土)	はれ	2人	中島、松野	金星、シリウス 曇ってしまっって残念でした。艶島、高田
4(日)	晴	2人	艶島、高田	金星、リゲル、M48,M35,M79,,M65,M66 他
10(土)				TALKABOUT 艶島、中島、長谷、立川、中尾の、椿、小林昌まんが持ってきました。「め組の大吾」、「ハンターハンター」
11(日)	はれ	1名	艶島、小林M、かい	火星、アークツールス 中尾のびたくん、椿くん
16(金)	曇	1名	艶島	昼間、NHK エンタープライズ 21 の内山さんが東京から来台 (艶島)
17(土)	雨		艶島	中尾 (の) 君が星屑用の写真を届けてくれたようです。封筒に1枚づつ入れてくれて有り難う!
18(日)	曇		艶島	「星屑」の封筒のり付け作業 お天気が悪く一人だったのでさみしい作業でした。(艶島)
23(金)	くもり	0名	長谷	着いてから見上げたら月がなくなっていた (長谷)
24(土)	はれ/ くもり	0名	中尾 (の) 高田,中島	熊大天研の新入部員を連れてきました! アークツールス、火星、月、M5
25(日)	くもり		艶島、甲斐、小林M	大川さんからおいしい差し入れがありました
28(水)	うす曇		艶島、小林J、中島	J氏の冷却CCDカメラのドライバーソフトをUPグレードしたら「撮像できなくなった」のでお神酒をそなえ「じゅもん」をとる儀式を行った。私は途中であえなくダウン。残る2人は朝まであれやこれら悪戦苦闘していたようだ (艶島)
29(木)	晴			昼間屋根を引っ張っているモーターのオイルもれ対策を実施。オイルを環流させるパイプを取り付けた。はて結果はいかに!? (艶島)
30(金)	はれ	3名	おねえちゃん、はせ、こばやし	たかたが来た。何もせずに帰った。21hになって3人見物人が来た。満月の夜に見る☆がない!お神酒が足りないのかCCDはBAD! (小林J)

梅雨真っ盛りの毎日、いかがお過ごしでしょうか？梅雨に入ったとたんの大雨でしたね。今年も大事にしなければよいのですが・・・で、それが過ぎたら楽しい夏、あ～、じめじめムンムンのわしゃわしゃです。夏はイベントもりだくさんで、久々の月食。部分ですけど。そして、来月はヨーロッパ日食！！いやー、梅雨真っ盛りの今、機材のチェックや新しい機材の購入等々。ぼそぼそと準備されている姿が天文台でさやかれています。という事で、日食月食写真、大募集します。今から書いとけば十分に合うでしょ。素敵な写真、よろしくお願いします。（編）

☆ 7月の天文現象 & 行事 ☆

- 6日（火） 下弦（20：57）
- 7日（水） 七夕 小夏 地球が遠日点通過(1.0167180天文単位)
- 8日（木） 明け方、東南東の空で月と木星が接近
- 9日（金） 明け方、東の空で月と土星が接近
- 13日（火） 新月（11：24）
- 15日（木） 金星が最大光度（-4.5等 視直径37".2 04：04）
- 16日（金） 夕方、西の空で月と金星が接近
- 20日（火） 上弦（18：00） 夏の土用
- 22日（木） 木星が西矩（等級-2.4等 視直径40".0）
- 23日（金） 大夏
- 24日（土） 高田氏の結婚式（おめでとうございます） 独身男性の会員、また減ってし
- 27日（火） 火星が東矩（等級0.0等 視直径9".6）
- 28日（水） 満月（20：25） 部分月食（20：34）

熊本県民天文台機関誌 「星屑」 1999年7月号 通巻292号

発行所 熊本県民天文台事務局 〒861-4226

熊本県下益城郡城南町塚原古墳公園内 熊本県民天文台

TEL 0964-28-6060

振替口座 01980-0-24463

熊本県民天文台事務局 担当 中尾 富作

ホームページ http://denouken.kmt-technopolis.or.jp/KUMA/KCAO_TST.HTML